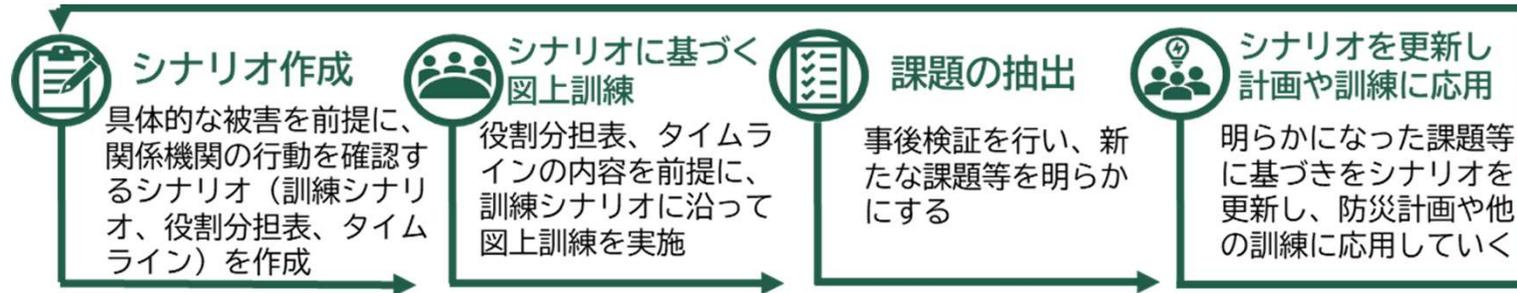


埼玉版FEMAとは

(参考)県HPリンク <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/fema/femagaiyou.html>

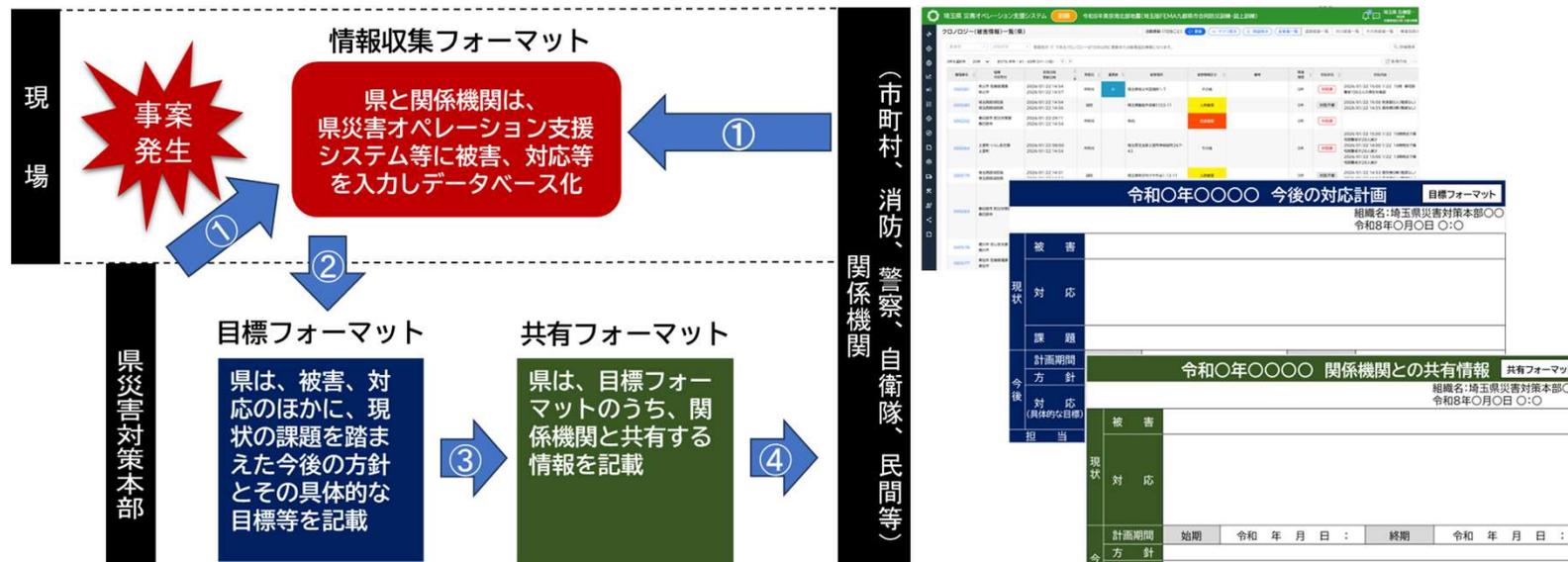
平時からシナリオ作成や訓練を繰り返すことで、災害や危機の詳細なテーマごとに対応する官民の組織、団体、企業等関係機関同士の「顔の見える関係」と「連携の強化」を推進する取り組みです。

令和2年度から開始し、令和7年度までに34回の図上訓練を実施し、シナリオ作成等行いました。



プロトコルの策定

戦略的な**目標設定**や迅速な**情報共有**等のため **埼玉県危機・災害対応プロトコル(手順書)**を策定。
フォーマット(様式)を活用した情報共有を行い、災害対応の標準化を図る。



令和〇年〇〇〇〇 今後の対応計画		目標フォーマット
組織名:埼玉県災害対策本部〇〇 令和8年〇月〇日 〇:〇		
被害	現状	
対応		
課題		
計画期間	方針	
対応	担当	
共有情報	共有フォーマット	
組織名:埼玉県災害対策本部〇〇 令和8年〇月〇日 〇:〇		
被害	現状	
対応		
計画期間	方針	
始期	令和 年 月 日 :	終期 令和 年 月 日 :

目的

埼玉版FEMAで作成したシナリオや、埼玉県危機・災害対応プロトコールを職員一人一人に浸透させ、全部局の職員が危機災害を自分事としての的確に対応できる防災人材を育成することで、ワンチームとして県全体の災害対応力の向上を図る

防災人材育成事業(令和8年度新規事業)

①「埼玉県防災人材育成指針」の策定

今回のプロポーザルでの委託業務

② 埼玉県危機・災害対応プロトコールを踏まえた災害対応マニュアル等の横断的整備

③ 職員等それぞれの役割に応じた研修による災害対応力向上

埼玉版FEMA図上訓練

- ・ 関係機関との連携強化
- ・ 様々なテーマごとのシナリオ
(風水害、地震、林野火災、国民保護など)

埼玉県危機・災害対応プロトコール

- ・ プロトコールでは災害時の情報共有の手順を定める
- ・ フォーマットを用いた情報共有により、戦略的かつ的確な災害対応を推進